

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護職員初任者研修講座V Care Staff Beginner's Training lecture V		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護職員初任者研修ユニット必修)	介護職員初任者研修ユニット履修者のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
「介護職員初任者研修講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
石川 幸子	福祉棟2階	月・火・木・金（授業時間以外）		授業中に指示します
授業の概要				
<p>「介護職員初任者研修講座V」では、介護職員初任者研修課程における「こころとからだのしくみと生活支援技術」の整容、入浴、身体の清潔、睡眠について学習する。介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識をもとに、整容や入浴・身体の清潔保持、睡眠の意義、および安全な介護サービスの提供方法について学ぶ。また、利用者の自立および自律に向けた支援のための基本技術を習得する。さらに、高齢者や障害児者を対象とするレクリエーションの視点について、体験を通し学習する。</p>				
授業の目標				
<p>①整容や入浴、身体の清潔保持、睡眠の意味について説明できるようにする。 ②入浴の際の環境整備のポイントおよび入浴に関連した用具を列挙できるようにする。 ③衣服着脱や入浴、清拭などの援助における方法および留意点について、説明できるようにする。 ④睡眠の際の環境整備の要点や睡眠に関連した用具を列挙でき、安眠のための介護の工夫について説明できるようにする。 ⑤レクリエーションの意義が説明でき、高齢者、障害児者を対象とするレクリエーションの視点を列挙できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>演習が主となる授業である。衣服着脱や清潔保持の具体的な援助については、教員のデモンストレーションの後、グループで演習する。利用者役と介護者役の両方を体験し、そこから援助の留意点について考える授業とする。また、グループディスカッションを行い、援助の方法や留意点等について考える。レクリエーション技術についても、体験を通して学習する。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>①整容や身体の清潔保持の意味をふまえ、利用者の状態に応じて、整容や入浴等に関する福祉用具を選択し、利用者の自立やプライバシーに配慮しながら、基本手順に沿った整容や衣服着脱および清潔保持の援助を行うことができる。 ②睡眠の意義をふまえ、安眠のための介護の工夫や環境整備をすることができる。 ③レクリエーションの意義をふまえ、高齢者や障害者に対するレクリエーション技術を習得することができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など） 整容に関する基礎知識、福祉用具の活用 【講義】			
第2回目	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助① 座位での着脱介助 【演習】			
第3回目	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助② ベッド上臥位での着脱介助 【演習】			
第4回目	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助③ 福祉用具の活用 【演習】 〈衣服着脱の振り返りレポートを次回提出〉			
第5回目	入浴や清潔保持に関する基礎知識、福祉用具の活用 【講義】			
第6回目	入浴介護の実際 家庭浴、リフト浴、特浴 【演習】			

第7回目	身体の清潔保持の方法と留意点 【講義】	
第8回目	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助① 清拭 【演習】 (清拭の振り返りレポートを次回提出)	
第9回目	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助② 部分浴 【演習】	
第10回目	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助③ 口腔ケア、ベッド上での洗髪 【演習】	
第11回目	睡眠に関する基礎知識 【講義】	
第12回目	睡眠障害の種類と原因 【演習と発表】	
第13回目	安眠への援助 【演習と発表】	
第14回目	レクリエーションの意義と方法 【講義】	
第15回目	レクリエーション活動の実際② 【演習】	
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。 実技に関しては生活支援技術マニュアルを読み、手順や根拠、留意点を復習しておくこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、演習では身だしなみを整え、技術向上に努めること。他者の意見を聴き、自分の意見を述べること。
レポート	20%	衣服の着脱介助と清拭について、演習の振り返りレポートを課す。S評価のレポートは、利用者役および介護者役を体験しての感想のみでなく、学びと留意点が具体的に記述されていること。
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	穴埋め、記述、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
①介護職員初任者研修テキスト 2巻 「自立に向けた介護の実際」 中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（職種：介護福祉士、職歴：通算13年） 講義・グループ演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。机の上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。		